2026 年 10 月 13 日

NEWS RELEASE

ヨコオ子会社・ナンシン、山形工場の落成式を実施

～　生成 AI 関連需要の拡大を背景に、半導体検査用プローブの生産体制を強化　～

落成式の様子（左から、ナンシン下島部長、田中取締役、松尾社長、岡崎取締役、遠藤取締役）

株式会社ヨコオ（本社：東京都千代田区、社長：柳澤勝平）の子会社である株式会社ナンシン（本社：長野県上伊那郡、社長：松尾聰満）は、山形県新庄中核工業団地に、ヨコオグループとして山形県内初となる本格的なマイクロパイプ（超高精度微細管）製造工場を新設しました。同工場は 9 月 1 日から稼働しており、完成を記念して 10 月 9 日（金）に落成式を実施しました。

山形工場では、主に半導体検査に使用されるプローブ向けのマイクロパイプを製造します。マイクロパイプは、髪の毛（直径約 0.08mm）よりも細い、直径約 0.04mm（40 ㎛）のパイプで、ナンシン独自の電鋳（電気鋳造）技術を用いて製造します。

ナンシンは、2024 年にヨコオグループの子会社となり、半導体検査に使用する極細プローブ向けのマイクロパイプを製造し、ヨコオの半導体検査用プローブの生産を支えています。

2025 年以降、生成 AI 関連市場の拡大に伴い、半導体検査用プローブの需要も伸長しています。こうした需要増加に対応するため、山形営業所で担っていた製造機能を新工場へ移転するとともに、生産設備を拡充し、マイクロパイプの生産能力を増強しました。

生産能力は、2027 年上期に月産 300 万本へ達する計画で、山形工場はナンシン全体のマイクロパイプ生産能力の 30%を担う見込みです。

ヨコオグループは今後も、市場の需要動向に迅速に対応し、高品質な製品を安定的に供給できる生産体制を構築するとともに、半導体検査市場における事業拡大と競争力の強化を通じて、お客様により高い価値を提供してまいります。

＜参考資料＞

■ 山形工場概要

項 目	内 容
名称	株式会社ナンシン山形工場
所在地	山形県新庄市福田字福田山 711－112
代表者	松尾聰満
投資額	約 2 億円（土地、建物、設備）
延床面積	680 ㎡
稼働日	2026 年 9 月 1 日（火）

（注） ニュースリリースに記載されている内容は報道発表日時点の情報です。その後、予告なしに変更する可能性があります。あらかじめご了承ください。

◇ 本リリースに関する問い合わせ先
株式会社ヨコオ 広報部 國井
TEL： 03-3916-3111
携帯： 090-9016-1453
E-mail： c-kunii@jp.yokowo.com